北海学園大学 学報

北海学園大学学報
発行・編集　北海学園大学
札幌市豊平区旭町４丁目
１番40号　〒062-8605
☎ 011(841)1161　FAX 011(824)3141
https://www.hgu.jp/
✉gakuho@tyhr.hokkai-s-u.ac.jp
発行日（6月1日、9月1日、12月1日、3月15日）
購読料　１部 80円　年間 320円
制作・印刷　株式会社人力社
北海学園大学 学報 バックナンバー

令和４年度

入学式挙行

2055名が学生生活スタート

令和４年度入学式が４月１日、２日、北海道立総合体育センター「北海きたえーる」で行われ、学部学生１部1508名、２部529名、大学院博士（後期）課程７名、修士課程11名、合わせて2055名の新入生を迎えた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学部・研究科別に２日間に分け、入学生、教職員のみで実施された。式典は学歌の紹介から始まり、続いて入学許可宣言、学長の式辞、新入生の宣誓、学生歌が紹介され、最後に今年度より本学園特任教授に就任した、侍ジャパン栗山英樹監督からの祝辞が紹介され、厳粛なうちに無事終了した。新入生は、緊張と期待が入り混じった面持ちで式典に臨んでいた。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点から入学生、教職員のみで実施された入学式

安酸敏眞学長 入学式式辞（要旨）

自らの人生の開拓者であれ！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長引くコロナ禍のなか、たゆまず努力されたがゆえに、本学への切符を手にされたものと推察いたします。皆さんはいまや大学生ですので、その誇りと自覚をもってください。

北海学園大学は一九五二年に創立されました。しかしその前身たる北海短期大学の誕生から起算すると、今年で創基七二年となります。他方、母体である学校法人北海学園は、一八八五（明治一八）年に設立されましたので、そこから数えると今年で一三七年です。北海道では最古の私立学校法人ですが、全国的に見ても中央大学と同じ古さであり、あの早稲田大学にはわずかに三年遅れをとっているだけです。

北海学園大学の建学の精神は、「開拓者精神」（Pioneer Spirit）です。北海道開拓に由来するこのスクールモットーは、「二つのじりつ」、すなわち自分の足で立つという意味の「自立」と、自分で自分を律するという意味の「自律」、によっても言い換えられます。

本学は、「北海学園大学ミッション・ビジョン」に示されているように、①北海道の知の拠点、②可能性に開かれたカリキュラム、③多様性に開かれたキャンパス、④活力ある教職員の協働体、を実現することを目指しています。皆さんもこの協働体の新たな一員として、本大学の成長と発展にご協力ください。

さて、皆さんはどのような未来予想図を描いていますか？　大学の四年間は、教養や専門知識を身につけ、総合的判断力や問題解決能力を磨き、各自の未来予想図を描く貴重な期間です。この時期に自分の未来予想図をしっかり描いて、自分で立てた目標に向かって努力をするか否かで、その後の人生は大きく異なります。自らの人生の開拓者として、充実した学生生活をお送りください。

令和４年度 入学者数

（単位/人）

学部		学科	入学者
経済	1部	経済学科	356
		地域経済学科	
	2部	経済学科	162
		地域経済学科	
経営	1部	経営学科	189
		経営情報学科	139
	2部	経営学科	111
法	1部	法律学科	308
		政治学科	
	2部	法律学科	186
		政治学科	
人文	1部	日本文化学科	114
		英米文化学科	102
	2部	日本文化学科	41
		英米文化学科	29
工		社会環境工学科	63
		建築学科	91
		電子情報工学科	78
		生命工学科	68

大学院	研究科		入学者
	経済学研究科	（修士課程）	2
		（博士課程）	2
	経営学研究科	（修士課程）	3
		（博士課程）	3
	法学研究科	（修士課程）	—
		（博士課程）	—
	文学研究科	（修士課程）	2
		（博士課程）	1
	工学研究科	（修士課程）	4
		（博士課程）	1

１部　計	1,508
２部　計	529
大学　計	2,037
大学院　計	18
大学・大学院　計	2,055

主な記事

ロシア軍のウクライナ侵攻への抗議声明―２面
令和４年度 副学長・学部長・研究科長・機関長 ３面
北海学園学術研究助成事業報告㉑ 経営学部 進藤将敏准教授 ４面
研究室を訪ねて⑦ 人文学部 関本真乃准教授―５面
新学部長・研究科長・機関長に聞く！―６面
学園人脈記 第19回 道興建設株式会社 代表取締役会長／同窓会札幌東区支部長 佐藤寿一氏―７面
キャリア支援センターインフォメーション 2022年就職状況 ８面

2022年度授業について

2022年度の授業形態としては、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながら、全学で約９割の科目を対面で実施しています。昨年度より２割程度増加しているのは、発話のない講義科目の教室定員を拡大したためです。

原則として対面授業を実施する科目は次の通りで、それ以外はオンラインを基本とする授業を行っています。

①対面授業が不可欠・重要と判断される科目、ゼミや実験・実習等科目（教室形態によるが、ソーシャルディスタンスを確保できる座席配置で実施）。

②講義科目で履修者数が試験定員（教室収容人員のほぼ３分の２以下）以下の科目。

詳細は、G-PLUS!でご確認下さい。

令和３年度

卒業証書・学位記授与式

令和３年度卒業証書・学位記授与式が３月21日・22日、北海道立総合体育センター「北海きたえーる」にて執り行われた（９月期は令和３年９月30日挙行）。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学部・研究科別に２日間に分け、卒業生、修了生、教職員のみで実施された。

卒業証書・学位記の授与

２日間に分けて実施

令和３年度 卒業生数／修士・博甲・博乙・法務博数

（単位/人）

学部		学科	令和3年度卒業生 9月期	令和3年度卒業生 合計	累計
経済	1部	経済学科	184	5	189	20,458
		地域経済学科	131	1	132	2,293
		経営学科	—	—	0	8,766
	2部	経済学科	66	6	72	7,854
		地域経済学科	35	9	44	753
		経営学科	—	—	0	3,291
経営	1部	経営学科	181	2	183	2,806
		経営情報学科	149	5	154	2,338
	2部	経営学科	85	16	101	1,529
法	1部	法律学科	150	6	156	12,626
		政治学科	113	1	114	2,408
	2部	法律学科	86	10	96	5,765
		政治学科	58	4	62	1,010
人文	1部	日本文化学科	102	1	103	2,526
		英米文化学科	102	1	103	2,456
	2部	日本文化学科	34	7	41	1,014
		英米文化学科	29	2	31	730
工		社会環境工学科	38	1	39	4,476
		建築学科	70	1	71	4,742
		電子情報工学科	62	1	63	2,883
		生命工学科	58	1	59	378
１部　計			1,340	26	1,366	69,156
２部　計			393	54	447	21,946
大学　計			1,733	80	1,813	91,102

大学院	研究科		令和3年度修了生 9月期	令和3年度修了生 合計	累計
	経済学研究科	（博士甲）	1	—	1	13
		（博士乙）	—	—	0	1
		（修　士）	3	—	3	208
	経営学研究科	（博士甲）	—	—	0	14
		（博士乙）	—	—	0	5
		（修　士）	2	—	2	123
	法学研究科	（法・博士甲）	—	—	0	9
		（政・博士甲）	—	—	0	1
		（博士乙）	—	—	0	4
		（法・修士）	—	—	0	107
		（政・修士）	1	—	1	28
	文学研究科	（日・博士甲）	—	—	0	3
		（英・博士甲）	—	—	0	1
		（博士乙）	—	—	0	7
		（日・修士）	1	—	1	103
		（英・修士）	—	—	0	29
	工学研究科	（建・博士甲）	—	—	0	7
		（電・博士甲）	—	—	0	7
		（生・博士甲）	—	—	0	0
		（建・修士）	2	—	2	151
		（電・修士）	—	—	0	47
		（生・修士）	3	—	3	10
法務研究科（法務博士）			1	—	1	155
大学院　計			14	0	14	1,033
大学・大学院　計			1,747	80	1,827	92,135

侍ジャパン 栗山英樹（くりやまひでき）監督

本学園特任教授に就任

野球日本代表 侍ジャパンのトップチーム監督で、北海道日本ハムファイターズ前監督、現プロフェッサーの栗山英樹氏が、令和４年４月１日付けで本学園特任教授に就任した。

辞令交付で安酸理事長は「球界で得られた貴重な体験を、学生・生徒、教職員にお伝えいただきたい」と要望し、栗山氏も「今後時機をみて、是非お手伝いができればと思っています」と話した。

栗山英樹氏（右）と安酸理事長

栗山 英樹特任教授プロフィール
1961年４月26日、東京都生まれ。
【球歴】創価高等学校−東京学芸大学。1984年−1990年ヤクルトスワローズ。2012年−2021年北海道日本ハムファイターズ監督。2022年野球日本代表 侍ジャパン トップチーム監督、北海道日本ハムファイターズ プロフェッサー。

シリーズ社会・経済を学ぶ
自治と教育の地域づくり
新・地域社会論Ⅱ
内田和浩（経済学部教授）著
地域住民の主体形成のために重要な「地域づくり教育」とは何か。北海道内の先進自治体の事例と住民リーダーの役割を紹介・分析する、新しい地域社会論のテキスト。
定価 三、三〇〇円（税込）

日本経済評論社

英語教育のエビデンス
これからの英語教育研究のために
亘理陽一・草薙邦広・浦野研（経営学部教授）他共著
英語教育研究におけるエビデンス利用の可能性や意義だけでなく、その問題点についても厳しく問い直し、英語教育研究のパラダイムシフトを提案する。英語教育研究者、とりわけ論文査読者必携。
定価 二、七五〇円（税込）

研究社

経営戦略の課題と解明
大月博司 編著／今野喜文（経営学部教授）・永野寛子・黄雅雯 他共著
組織体の戦略について、経営戦略の観点に絞り、その理論的発展や実践によって明らかにされた分析ツールや戦略モデルを明示し、目標達成できる戦略を策定できるようになることを狙いとした書。
定価 三、〇八〇円（税込）

文眞堂

高山寺経蔵の形成と伝承
高山寺典籍文書綜合調査団 編／池田証壽・徳永良次（人文学部教授）他共著
京都栂尾高山寺経蔵に収蔵される典籍文書は、高山寺典籍文書綜合調査団により永年にわたって調査され、研究成果を蓄積してきた。本書はその調査団の五十周年を記念して最新の成果を集約したもの。
定価 二七、五〇〇円（税込）

汲古書院

バナナの足、世界を駆ける
―農と食の人類学―
小松かおり（人文学部教授）著
コンゴ・カメルーン・ガーナ・ウガンダ・インドネシア・パプアニューギニア・沖縄。世界中のバナナを通して農と食をみつめてきた研究者がたどり着いた、ヒトとバナナの「遊び」の関係とは。
定価 三、三〇〇円（税込）

京都大学学術出版会

Urban Empires
Cities as Global Rulers in the New Urban World
Edward Glaeser, Karima Kourtit, Peter Nijkamp 編著
鈴木聡士（工学部教授）他共著
鈴木聡士教授は第15章を担当。効率性のパフォーマンス評価が可能なDEA(Data Envelopment Analysis)モデルを活用して世界38大都市を対象に、住民の幸福・雇用・環境と、人的資源・コミュニケーション・経済活動を評価する。
£47・99

Routledge

柿の隣に実るもの
香名山はな（経済学部経済学科平成６年度卒・42期生）著
第8回エネルギーフォーラム小説賞受賞作。都会を離れ引っ越してきた北海道の小さな町で思いがけず見つけた〝しあわせ〟。人の生きる姿、自然の美しさ、環境の大切さなど様々なことを考え、想像できる小説。
定価 一、五九五円（税込）

エネルギーフォーラム

教育振興会

寄付のお礼と監査報告

教育振興会に令和３年度も多くの個人や法人、団体からご寄付をいただきました。皆様の尊いお志にたいしまして衷心よりお礼申し上げます。

令和３年度寄付者ご芳名と、教育振興資金収支決算報告書および監査報告書は次の通りです。

今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付者ご芳名

【個人】〔敬称略〕

▼10万円未満

淺野高宏、安達昭弘、飯野海彦、上原雅夫、内田和浩、大橋孝行、加藤正晴、萱津大知、木村勝照、木村剛、小松かおり、佐々木啓明、佐藤剛、佐藤貴史、杉本圭吾、杉山匡、鈴木美佐子、竹田直弘、堂柿栄輔、仲丸英起、長谷川昭、稗貫俊文、福原正己、増地あゆみ、松久三四彦、水野谷武志、宮入隆、山崎省一、渡辺敦　他匿名７名

▼10万円以上50万円未満

北原博、安酸敏眞、山田誠治

▼金額非公開

天笠道裕、新井春生、安藤直哉、伊熊克己、市川大祐、上野誠治、魚住純、岡崎敦男、春日賢、亀屋廣保、川村雅則、菊田悠、草間秀樹、郡司美枝、佐藤信、田中昭憲、田中綾、福田都代、元木邦俊、森下宏美、山縣和敏、山田早希子、山田俊郎、若月秀和　他匿名６名

【企業・法人・団体】

▼10万円以上50万円未満

新太平洋建設株式会社、北海学園大学経営学部蓬門会

▼100万円以上500万円未満

一般財団法人北海道河川財団

【令和３年度寄付金合計】

119,753,578円

【寄付金累計】

185,540,242円

令和 3年度　北海学園大学教育振興資金　収支決算報告書

自　令和3年4月1日　至　令和4年3月31日

（単位　円）

	前年度繰越	収入の部 令和3年度寄付金	委託寄付金繰入	その他収入	支出の部 令和3年度奨学金	委託寄付金繰出	その他支出	次年度繰越
奨学金A	3,190,000	3,150,000	－	－	5,560,000	－	－	780,000
奨学金B	0	50,000	2,650,000	－	2,700,000	－	－	0
奨学金C	46,177	90,000	363,823	－	500,000	－	－	0
委託寄付金	21,299,282	116,463,578	－	－	100,000	3,013,823	41,355	134,607,682
その他	0	－	－	728	－	－	726	2
計	24,535,459	119,753,578	3,013,823	728	8,860,000	3,013,823	42,081	135,387,684

(注)その他支出　内訳

1) 送金手数料　19,355 円
2) 残高証明書発行手数料　726 円
3) 寄付金募集等に係る印刷経費　22,000 円

北海学園大学教育振興資金　寄付金累計
（平成25-令和3年度）　185,540,242 円

以　上

監査報告書

北海学園大学教育振興会
会長　安酸敏眞 様

令和 4 年 4 月 19 日

令和2年度 北海学園大学教育振興資金 収支決算報告書について監査を行った結果、会計帳簿は記載すべき事項を正しく記載し、かつ、規程に基づき適切に運営・実施されていることをご報告致します。

監査人　職名　人文学部・教授
氏名　小松かおり

監査人　職名　庶務課長
氏名　黒澤　規央

以　上

ロシア軍のウクライナ侵攻への抗議声明

ロシア軍のウクライナ侵攻を強く非難します。

ロシア政府にロシア軍のウクライナからの即時撤退を要求します。

この侵攻のために亡くなられた方々に哀悼の意を表します。現在被害を受けている方々、さらに、意に反して侵攻に参加しているロシア兵の悲しみと苦しみに思いを致します。

ウクライナの人達、戦争に反対するロシアを含む全世界の人達との連帯を表明します。

令和４年３月１日
北海学園大学学長　安酸敏眞

Объявление протеста против вторжения российских войск в Украину

Мы крайне осуждаем вторжение российских войск в Украину.

Мы требуем от российского правительства немедленного вывода войск из Украины.

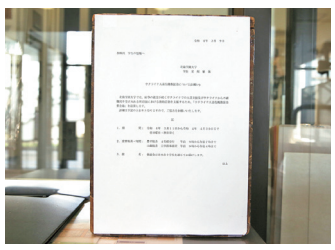
Мы выражаем соболезнование погибшим во время вторжения, а также разделяем печаль и страдания, которые испытывают сейчас люди в Украине и российские солдаты, которые участвуют во вторжении против своей воли.

Мы объявляем свою солидарность со всеми людьми, ротестующими против войны, в Украине, в России и во всеммире.

ЯСУКАТА Тосимаса
Ректор университета Хоккай Гакуэн
1марта2022г.

ウクライナ人道危機救援金募金箱 設置

３月11日から４月30日、本学は豊平キャンパス４号館受付と山鼻キャンパス工学部事務室に、「ウクライナ人道危機救援金募金箱」を設置した。紛争の被害が続くウクライナでの人道支援及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国における救助活動を支援するため、集まった救済金126、915円は日本赤十字を通じて届けられた。



豊平キャンパス４号館受付前

教育振興資金へ故 新井春生様から遺贈寄付

故 新井春生様（経済学部５期、昭和48年３月卒）より教育振興資金のために使用してほしいと遺贈の申し出があり、令和４年２月28日にご遺志により大切な財産をご寄付いただきました。

新井様からは令和３年１月18日にも教育振興資金に多額のご寄付を賜りました。

この度のご厚志に対して感謝を申し上げますとともに、奨学金として学生へのさまざまな支援に活用させていただきます。

新井様のご冥福をお祈り申し上げます。

名誉教授の称号授与

本年３月31日付で退職された嵯峨浩先生（元工学部教授）、佐藤哲身先生（元工学部教授）、杉山雅先生（元工学部教授）の永年にわたる教育研究、大学運営、社会活動の功績に対し３月31日、本学第三会議室で、本学名誉教授の称号が安酸敏眞学長より授与された。

名誉教授称号記授与式にて。前列左から魚住純副学長、佐藤哲身名誉教授、安酸敏眞学長、杉山雅名誉教授、鈴木美佐子副学長、後列左から天笠道裕経営学部長、石井健経済学部長、元木邦俊工学部長、若月秀和法学部長、大森一輝人文学部長

▽**嵯峨（さが） 浩（ひろし） 名誉教授**

【略歴】昭和54年室蘭工業大学土木工学科卒業、昭和56年北海道大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了、平成３年工学博士（北海道大学）、昭和57年苫小牧工業高等専門学校土木工学科助手、平成３年本学工学部助教授、平成７年同教授（水理学Ⅱ・演習などを担当）、平成７年大学院工学研究科修士課程担当（水循環工学特論などを担当）

【主な論文】「周波数応答法の非線形流出系への適用」、「小流出試験地（室蘭）の流出特性・流出解析」、「A new tank model coupled with the storage routing method」

◆　◆　◆

▽**佐藤（さとう） 哲身（てつみ） 名誉教授**

【略歴】昭和51年室蘭工業大学大学院工学研究科建築工学専攻修士課程修了（工学修士）、平成６年博士（工学［室蘭工業大学］）、昭和51年室蘭工業大学工学部助手、昭和57年本学工学部講師、昭和58年同助教授、平成２年同教授（建築環境計画など担当）、平成３年大学院工学研究科修士課程担当、平成７年博士（後期）課程担当（都市環境評価特論、音環境計画特別講義など担当）、平成24年キャリア支援センター長、平成29年工学研究科長

【主な著書・論文・発表等】

論文：共著「Community response to a step change in the aircraft noise exposure around Hanoi Noi Bai International Airport」、「Combined effects of high-speed railway noise and ground vibrations on annoyance」、「Exposure-response relationships for road traffic and aircraft noise in Vietnam」

◆　◆　◆

▽**杉山（すぎやま） 雅（まさし） 名誉教授**

【略歴】昭和53年北海道大学大学院工学研究科建築工学専攻修士課程修了、昭和56年同博士課程修了（工学博士）、昭和56年藤沢薬品工業株式会社（現、アステラス製薬株式会社）、中央研究所主任研究員、平成９年本学工学部建築学科教授（25年間）（建築一般構造など担当）大学院工学研究科修士課程担当、平成14年博士（後期）課程担当（環境材料工学特別講義Ⅰ・Ⅱなど担当）

【主な著書・論文・発表等】

共著『建築材料用教材』、『寒中コンクリート施工指針・同解説』、『耐寒促進剤の品質基準および施工ガイド』、『コンクリート実務便覧』、『コンクリート用混和材料の最新技術に関する研究委員会報告書』、単著『超高耐久性コンクリートの開発研究』

人事往来

【教員】

退職　令和４年２月28日付

▽経営学部（教職課程）講師 後藤哲

令和４年３月31日付

▽法学部 教授・大学院法学研究科 教授 秦博美▽工学部 教授・大学院工学研究科 教授 嵯峨浩▽工学部 教授・大学院工学研究科 教授 佐藤哲身▽工学部 教授・大学院工学研究科 教授 杉山雅▽経営学部 講師 金倫廷

解任　令和４年３月31日付

▽人文学部長（教授）大森一輝▽大学院経済学研究科長（教授）佐藤信▽教務センター長（教授）荻原克男▽入試部長（教授）岡崎敦男▽図書館長（教授）大谷通順▽開発研究所長（教授）西村宣彦

任命　令和４年４月１日付

※再任を含む

▽法学部長（教授）若月秀和▽人文学部長（教授）小松かおり▽大学院経済学研究科長（教授）古林英一▽大学院経営学研究科長（教授）佐藤淳▽大学院文学研究科長（教授）上野誠治▽大学院工学研究科長（教授）高橋孝太▽教務センター長（教授）鈴木美佐子▽学生部長（教授）草間秀樹▽キャリア支援センター長（教授）春日賢▽入試部長（教授）田中綾▽開発研究所長（教授）濱田武士

昇格　令和４年４月１日付

▽経済学部 教授 菊田悠▽経済学部 教授・大学院経済学研究科（修）教授 早房正宏▽経済学部 准教授 牛久晴香▽経営学部 教授・大学院経営学研究科（修）教授 近藤弘毅▽経営学部 准教授 進藤将敏▽法学部 教授・大学院法学研究科（修）教授 稲垣美穂子▽法学部 教授・大学院法学研究科（修）教授 岩坂将充▽法学部 教授・大学院法学研究科（修）教授 大滝哲祐▽法学部 准教授 池田真歩▽法学部 准教授 岩淵重広▽人文学部 教授・大学院文学研究科（修）教授 ジェレミ ブシャー▽人文学部 教授・大学院文学研究科（修）教授 森川慎也▽工学部 教授 小野智香子▽工学部 教授 楊安娜▽工学部 准教授 金澤健

採用　令和４年４月１日付

▽経営学部 准教授 金倫廷▽経営学部 講師 村上始▽法学部 講師 津田久美子▽工学部 教授 鈴木洋之▽工学部 教授 三澤温▽工学部 准教授 清水信宏

大学院担当発令　令和４年４月１日付

▽大学院経済学研究科（博）教授 早房正宏▽大学院文学研究科（博）教授 ジェレミ ブシャー▽大学院工学研究科（博）教授 森川慎也▽大学院工学研究科（修・博）教授 高橋良輔▽大学院経済学研究科（修）准教授 佐藤敦紘▽大学院経営学研究科（修）准教授 進藤将敏▽大学院法学研究科（修）准教授 池田真歩▽大学院法学研究科（修）准教授 岩淵重広

【職員】

退職　令和３年６月30日付

▽学生部学生課 主任 沖山翠

令和３年12月８日付

▽学生部学生課 臨時事務員 小林后

令和４年３月31日付

▽人文学部 事務係長 白石美也子▽入試部入試課 特定事務員 中村奈見▽入試部入試課 特定事務員 西田由紀子

昇格　令和４年４月１日付

（　）内は前職

▽経営学部 事務係長 滝本広太（経営学部主任）▽学生部学生課主任 加藤慎也（学生部学生課書記）

採用　令和４年４月１日付

▽教務センター 書記 大西彩加▽開発研究所 書記 前川尚人▽経営学部 書記 藤原豪士▽教務センター 臨時事務員 鈴木恵理

令和４年５月１日付

▽入試部入試課 臨時事務員 菅原明代

異動　令和４年４月１日付

（　）内は前職

▽入試部入試課 課長 藤井勝彦（開発研究所事務長）▽図書館事務長 河井裕司（入試部入試課長）▽開発研究所 事務長 川田裕之（図書館事務長）▽人文学部 事務係長 岡本泰典（経営学部事務係長）▽事務部庶務課 主任一関彩夏（経済学部主任）▽経済学部 主任 佐々木郁実（事務部庶務課主任）▽工学部 主任 佐々木一馬（教務センター主任）▽学生部学生課 主任 鈴木璃恵（工学部主任）▽北海学園事務局企画室長（兼）大学院事務部長（兼）学長秘書業務総括担当 佐々木啓明（大学院事務部長（兼）学長秘書業務総括担当）▽事務部会計課 課長 佐藤剛（北海学園事務局管財部管理課長）▽事務部学習支援システム課 課長 田口聖志（北海商科大学事務係長）▽キャリア支援センター特定事務員 松田真紀子（北海学園事務局企画室企画課）▽北海学園事務局経理部財政課 課長 木村剛（事務部学習支援システム課長）▽北海商科大学 教務課長 栗原隆文（事務部会計課長）

令和4年度

副学長・学部長・研究科長・機関長

▼副学長
魚住 純 工学部教授
昭和56年北海道大学大学院工学研究科電子工学専攻博士後期課程修了（工学博士）、昭和61年同大学助手、平成元年同助教授、平成11年本学教授（光工学Ⅰなど担当）、大学院工学研究科修士課程担当、同博士課程担当（光システム工学特別講義Ⅰなど担当）、平成18年入試部長、平成30年工学部長、令和3年副学長

▼副学長・教務センター長
鈴木 美佐子 法学部教授
昭和63年お茶の水女子大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程修了（文学修士）、平成4年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科比較文化学専攻博士課程単位修得退学、平成4年東京工業大学工学部助手、平成8年東京工業大学大学院社会理工学研究科助手、平成10年本学法学部助教授、平成17年教授（論理学など担当）、大学院法務研究科専門職学位課程兼担、平成28年学生部長、令和3年副学長、令和4年度教務センター長兼担

▼経済学部長
石井 健 教授
平成10年一橋大学大学院社会学研究科後期博士課程地域社会研究専攻単位修得退学、平成21年博士（社会学）（一橋大学大学院）、平成10年一橋大学社会科学古典資料センター、平成15年北海道教育大学教育学部岩見沢校助教授、平成18年同札幌校助教授、平成19年同准教授、平成28年本学経済学部教授（西洋経済史Ⅰ・Ⅱなど担当）、大学院経済学研究科修士課程担当、博士（後期）課程担当（比較経済政策史特殊研究Ⅱなど担当）、令和3年経済学部長

▼経営学部長
天笠 道裕 教授
平成9年法政大学大学院社会科学研究科経営学専攻修士課程修了、平成17年大東文化大学大学院経営学研究科経営学専攻博士後期課程単位取得退学、平成9年東日本国際大学助手、平成11年同大学講師、平成15年本学経営学部講師、平成19年准教授、平成23年教授（経営情報など担当）、大学院経営学研究科修士課程担当、平成28年博士（後期）課程担当（経営情報論特殊研究など担当）、令和3年経営学部長

▼法学部長
若月 秀和 教授
平成5年同志社大学法学部政治学科卒業、平成8年立教大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了、平成14年同博士課程修了、平成14年立教大学法学部助手、平成15年本学法学部講師、平成19年准教授、平成21年大学院法学研究科修士課程担当、平成23年教授（国際政治学など担当）、平成29年博士（後期）課程担当（国際政治学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなど担当）、令和2年法学部長

▼人文学部長
小松 かおり 教授
平成10年京都大学大学理学研究科動物学専攻博士後期課程単位修得退学、平成12年3月京都大学大学院博士（理学）取得、平成10年日本学術振興会特別研究員、平成13年静岡大学人文学部助教授、平成23年同教授、平成28年本学人文学部教授（文化人類学Ⅱなど担当）、文学研究科修士課程担当（環境文化特殊講義eⅠなど担当）、文学研究科博士（後期）課程担当、令和4年人文学部長

▼工学部長
元木 邦俊 教授
平成元年北海道大学大学院工学研究科電子工学専攻博士課程修了（工学博士）、平成元年本学工学部助手、平成3年講師、平成5年助教授、平成13年教授（電子回路Ⅰ・Ⅱなど担当）、大学院工学研究科修士課程担当、平成19年博士（後期）課程担当（音声情報処理工学特論など担当）、平成26年入試部長、令和3年工学部長

▼経済学研究科長
古林 英一 教授
昭和62年京都大学大学院農学研究科農林経済学専攻博士課程中退、博士（農学）、昭和62年南九州大学園芸学部講師、平成4年同助教授、平成5年北海道大学水産学部講師、平成7年同助教授、平成12年本学経済学部教授（環境経済論Ⅰ・Ⅱなど担当）、大学院経済学研究科修士課程担当、博士（後期）課程担当（環境政策特殊研究Ⅰなど担当）、平成30年経済学部長、令和4年経済学研究科長

▼経営学研究科長
佐藤 淳 教授
平成元年東北大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士前期課程修了（教育学修士）、平成6年同博士後期課程単位取得退学、平成21年博士（教育学）（東北大学）、平成6年本学講師、平成9年助教授、平成14年教授（学習心理学など担当）、大学院経営学研究科修士課程担当、平成22年博士（後期）課程担当（学習心理学特殊講義・演習など担当）、平成24年経営学部長、令和2年経営学研究科長

▼法学研究科長
鈴木 光 教授
平成10年北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学、平成17年法学博士（北海道大学）、平成8年日本学術振興会特別研究員（DC）、平成10年4月同（PD）、平成10年7月本学法学部助手、平成11年講師、平成15年助教授、平成19年准教授（職名変更）、平成21年大学院法学研究科修士課程担当、平成22年教授（行政法Ⅰ・Ⅱなど担当）、平成28年博士（後期）課程担当（行政法特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなど担当）、令和3年法学研究科長

▼文学研究科長
上野 誠治 教授
昭和58年北海道大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程修了（文学修士）、昭和62年同博士課程単位取得満期退学、昭和62年東日本学園大学教養部講師（現北海道医療大学）、昭和63年釧路公立大学経済学部講師、平成4年本学学教養部助教授、平成10年人文学部助教授、平成15年教授（英語学概論など担当）、平成23年大学院文学研究科修士課程担当（平成27年博士（後期）課程担当（欧米言語・思想文化論文指導特殊演習など担当）、平成28年人文学部長、令和2年文学研究科長

▼工学研究科長
髙橋 考太 教授
平成元年京都大学理学部卒業、平成3年同大学院理学研究科修士課程修了、平成7年博士（理学）、平成10年北海道大学大学院理学研究科生物物理学専攻博士前期課程修了、平成6年同博士後期課程修了、平成6年京都大学理学部研修員（日本学術振興会特別研究員）、平成7年スイス実験癌研究所博士研究員（日本学術振興会特別研究員）、平成7年ジュネーブ大学理学部博士研究員（国際ヒューマンフロンティアサイエンスプログラム機構長期間研究員）、平成9年京都大学大学院理学研究科生物物理学専攻助手、平成11年同大学院生命科学研究科統合生命科学専攻助手、平成14年久留米大学分子生命科学研究所細胞工学研究部門教授、平成22年本学工学部電子情報工学科教授、平成24年生命工学科教授（分子生物学など担当）、平成26年大学院工学研究科修士課程担当、平成27年博士（後期）課程担当（合成生物学特別講義Ⅰ・Ⅱなど担当）、令和2年工学研究科長

▼法務研究科（法科大学院）長
大西 有二 教授
昭和60年北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学、平成元年法学博士（北海道大学）、平成2年北海道情報大学専任講師、平成5年本学法学部助教授、平成6年教授（行政法Ⅱなど担当）、大学院法学研究科修士課程担当、平成11年博士（後期）課程担当（行政法特殊研究など担当）、平成26年大学院法務研究科教授（行政法Ⅰなど担当）、令和3年法務研究科長

▼学生部長
草間 秀樹 法学部教授
平成10年明治大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学、平成13年本学法学部専任講師、平成15年助教授、平成17年法科大学院助教授、平成21年法学部教授（商法Ⅱなど担当）、大学院法学研究科修士課程担当（企業法特論Ⅰなど担当）、平成26年法学部長、平成27年博士（後期）課程担当（商法特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなど担当）、令和2年学生部長

▼キャリア支援センター長
春日 賢 経営学部教授
平成2年中央大学商学部商業、平成5年立教大学大学院経済学研究科経済学専攻博士前期課程修了、平成9年本学経済学部講師、平成10年助教授、平成15年中央大学大学院商学研究科商学専攻博士後期課程修了、平成9年本学経済学部講師、平成10年助教授、平成15年経営学部助教授、平成16年大学院経営学研究科修士課程担当、平成19年教授（経営学説史など担当）、平成24年博士（後期）課程担当（企業と社会特殊研究Ⅰなど担当）、令和2年キャリア支援センター長

▼入試部長
鈴木 聡士 工学部教授
平成14年北海学園大学大学院工学研究科建設工学専攻博士（後期）課程修了、博士（工学）、平成14年札幌大学経済学部専任講師、平成16年同助教授、平成18年Vrije Universiteit Amsterdam客員研究員、平成20年本学工学部准教授、平成21年工学研究科修士課程担当、平成25年教授（データ解析演習など担当）、平成27年工学研究科博士（後期）課程担当（環境・エネルギーシステム特別講義など担当）、令和4年入試部長

▼図書館長
田中 綾 人文学部教授
平成13年北海学園大学文学研究科修士課程修了、平成20年北海学園大学大学院文学研究科学位授与（博士（文学））、平成20年本学人文学部准教授、平成26年教授（日本文学史Ⅱなど担当）、文学研究科修士課程担当、平成29年文学研究科博士（後期）課程担当（日本言語・思想文化論文指導特殊演習ⅢAなど担当）、令和4年図書館長

▼開発研究所長
濱田 武士 経済学部教授
平成11年北海道大学大学院水産学研究科博士後期課程修了（博士（水産学））、平成10年日本学術振興会特別研究員、平成12年水産経営技術研究所研究員、平成14年東京水産大学水産学部助手、平成15年東京海洋大学海洋科学部助手、平成18年同准教授、平成24年東京海洋大学大学院海洋科学系准教授、平成28年本学経済学部教授（地域経済入門、地域経済論など担当）、大学院経済学研究科修士課程担当、博士（後期）課程担当（地域経済特殊研究Ⅱなど担当）、令和4年開発研究所長

豊陵会寄贈絵画 ⑮

『'99年夏』

鵜沼 人士

1999年度道展出品（油彩100号）
豊平校舎5号館4階ロビー南側壁面展示

《プロフィール》1956年小樽市生まれ。北海道札幌西高等学校教諭。北海道美術協会（道展）会員、北海道高等学校文化連盟美術専門委員長、北海道教職員美術審査員・企画委員。1988年道展新人賞、1989年道展佳作賞、1990年道展新会友推挙、1992年道展会友賞、1993年道展新会員推挙。1997年「'99夏」F100号、2000年「窓辺秋日」F100号、2004年「彩夏」F100号など。

新任教員あいさつ

経営学部

経営情報学科 講師 **村上 始**

「消費者行動」、「マーケティング・リサーチ」を担当いたします。これまで消費者の購買意思決定や、購買場面に限らず人の意思決定について眼球運動測定装置や数理モデルを用いて研究してきました。普段のお買い物など、日常生活との関わりが深いテーマですので、講義やゼミでは、身の回りの出来事を多く取りあげて、学問を身近に感じ、興味を持ってもらえるようにできればと思っています。何卒よろしくお願い申し上げます。

法学部

政治学科 講師 **津田 久美子**

「国際公共政策」を担当いたします。地球規模課題に対する取り組みに関心をもち、グローバル・ガバナンスやEU公共政策の研究をしてきました。ポスト・グローバル化時代と言われる昨今ですが、地方・国家・国際レベルを横断する複合的な社会課題への取り組みは今後ますます重要になると思われます。教育・研究を通じて、これからの時代にこそ求められる「グローカル」な思考を深めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

工学部

社会環境工学科 教授 **鈴木 洋之**

今年度から流れ学・河川工学などの講義を担当致します。平成8年に本学土木工学科（現社会環境工学科）を卒業し、北海道大学大学院で学位を取得後、高専に21年間勤めてきました。教員という立場で母校に戻ってこられたことを嬉しく思っております。専門は水工学で河川防災やダムの運用に関する研究などです。北海道の河川管理に貢献できる人材の育成を目指した教育研究を展開したいと考えております。よろしくお願い致します。

建築学科 教授 **三澤 温**

「建築環境計画」を担当いたします。専門はファサードエンジニアリングで、建物内外の空間の連続性や都市と建築の緩衝領域をより良く構成するための設計・技術を研究しています。建築は暮らしと密接な関りがあり、技術の進化や多様なライフスタイルにより様々な建築が生まれます。教育・研究を通して、学生の視野を広げるとともに、多様な空間の創出、未来を創る設計技術に貢献したいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

建築学科 准教授 **清水 信宏**

こんにちは、この春に北海学園の一員となりました清水信宏です。専門は建築や都市の歴史で、これまでアフリカ大陸のエチオピアという国で調査活動を行なってきました。建築や都市の過去をリスペクトすることのおもしろさ、異なる文化を知ることの愉しさを学生に伝えつつ、北海道という土地への理解を学生とともに深めていければというふうに思っていますので、よろしくお願いいたします。

新任職員紹介

①出身大学
②所属ゼミ名・テーマ、前職の業務内容
③抱負

教務センター 書記 **大西 彩加**

①北海学園大学経済学部経済学科
②求人広告を取り扱う会社で営業部に所属し、主に営業・企画、web広告の運用に携わっていました。
③至らぬ点も多々あると思いますが、一日でも早く仕事を覚えられるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

開発研究所 書記 **前川 尚人**

①明治大学政治経済学部経済学科
②須藤ゼミ・アメリカ経済史
前職では、防災業務に従事したのち、給食費に係る業務に従事。
③北海学園のさらなる発展に寄与できるよう、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

経営学部 書記 **藤原 豪士**

①北海学園大学経済学部経済学科
②3年次まで市川大祐先生のゼミに所属し、戦前戦後の日本経済について学ぶ。
③学生が有意義な学校生活を送れるよう精一杯頑張ります。社会人として未熟ですが、よろしくお願いします。

北海学園学術研究助成事業報告㉑

研究課題

青年期における自己制御の発達と描画との関連について

経営学部准教授　進藤（しんどう） 将敏（まさとし）

1983年秋田県生まれ。教育学博士（東北大学）。専門は認知・発達心理学。主な関心は、幼児期の描画発達。幼児が何らかの対象物を描く際、紙面に描く大きさや位置などを考慮した計画的な描画ができるようになるには、大きさや位置をとらえる空間認知や、描き方を状況に応じて柔軟に切り替える自己制御能力の発達が関わることを、実験で明らかにしてきた。現在はその知見を応用し、子どもの認知発達をサポートする描画活動の考案とその効果検証にも取り組む。また、知的発達に遅れはないが社会適応が難しい子どもの発達支援にも関心を寄せている。

自己制御は、目標を達成するために自分の行動や思考を適切にコントロールする能力のことです。最近では、自己制御の核となる能力を実行機能と呼び、乳幼児期からの育成課題として世界が注目しています。しかし、その考えは日本ではあまり浸透しておらず、研究も少ない状況です。加えて、先行研究の多くは乳幼児・児童期を対象にしたものが中心で、それ以降の発達段階（特に青年期）を扱った研究はとりわけ少ないことも問題でした。これについて、10～20代中頃の青年期の脳は「報酬系」の発達が急激に進むことにより、衝動的になりやすく、誘惑への耐性が低下する一方、それを制御する「前頭前野」は約30年かけて緩やかに成熟することが知られています。つまり、青年期は報酬系と前頭前野の発達速度のギャップが最も大きい時期なので、諸々の自己管理に困難を抱えやすく、時には不適応にもつながります。よって、自己制御（または実行機能）の発達やその支援に関する知見が現在求められています。

非標準型の描画で「計画性」や「柔軟性」に変化

そこで本研究では、比較的実施が簡易なアクティビティで自己制御の育成につながる試みができないか思案し、描画が自己制御の発達に貢献するか否かを検証する実験を行いました。描画といっても「非標準型の描画」といった、本来は自発的に描かれないような対象の特殊な見え（例えば、正面から見た魚の見えなど）の描画に着目しました。先行研究によれば、非標準型の描画は自己制御を担う脳の前頭前野の働きと関連することが指摘されています。それを確認するため、実験1では近赤外線分光法（NIRS）で描画中の脳血流量を測定したところ、予想通り前頭前野が著しく賦活化しました。続く実験2では、自己制御の向上を狙った介入（非標準型を描く活動の継続的な実施）を行いました。参加学生たちは、人物を斜め下のアングルから見た様子や、転んだ様子など、人物画としては自発的に描かれない「非標準的な」題材について、見本を参照しながら描く活動に定期的に取り組みました。介入の結果、学生たちの日常行動の自己評価に変化が生じました。特に「行動の計画性（プランニング）」や「行動の柔軟性（シフティング）」といった自己制御が強く関係する項目のみ、介入前よりも有意に向上しました。一方、描画を行わなかったグループには変化がありませんでした。以上の結果は、描画が自己制御の発達の一助となる可能性を示しています。今後は、介入がもたらす行動面への影響や長期的な効果測定などを進め、描画と自己制御についてより洗練した知見を導きたいと思います。

描画中における脳血流量を測定する実験風景

研究の詳細は「北海学園大学学園論集第185号、頁1-12」に掲載させていただきました。

トピックス67

法学部教授　五十嵐（いがらし） 素子（もとこ）（教職課程専任教員）

GIGAスクール構想とポストコロナの大学教育

2019年12月に文科省が新学習指導要領に合わせて発表した「GIGAスクール構想」は、その後の新型コロナウイルス感染症の拡大による休校措置によってその必要性が大きく高まり、急遽、補正予算を組みながら、計画が前倒しで実施されていくことになった。

「GIGAスクール構想」の「GIGA」とは、「Global and Innovation Gateway for All（全ての児童・生徒のためのグローバルで革新的な入り口）」という意味だ。長らく課題であった、校内通信ネットワーク、1人1台端末といった学校の環境整備を行い、ICT（情報通信技術）を利活用する指導体制の強化を通じて、情報活用能力を育成し、新学習指導要領が目指すところのICTを用いた「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の視点に基づく授業や「個別最適化された学び」の実現を目指すものである。

2022年度現在、義務教育段階では、すでに上記の環境整備が実現しつつあり、デジタル教科書の一部無償配付も行われている。休校時の学習指導のためだけでなく、本来の教育課題の達成に向けて、ICTを利活用する段階へと舵を切ったといえる。ICTの利活用という点では地域や学校間でバラツキがあった高等学校でも、今年度から新学習指導要領が全面実施されることから、1人1台端末環境の実現が急務とされている。

さて、アクティブ・ラーニングが大学教育に求められるようになって久しいが、そのビジョンが大学全体で共有されてきたとは言いがたい。さらにこの数年は、コンテンツの準備やツールの習熟に気を取られ、それらを学生に主体的に活用してもらえるよう、工夫することを怠ってきたように思う（私だけかもしれないが…）。

しかし、前述の動向を念頭に置けば、大学でもICTを活用したアクティブ・ラーニングが行われることが望まれていることは言うまでもない。数年後の大学教育では、新入生はICTの利用に習熟しており、それらを活用して専門性を身に付けることができる学習環境を求めているかもしれない。そんな想像をすると、学生にがっかりされないよう、自分なりに講義法をアップデートしていかないといけない、と気持ちが焦る今日この頃である。

開発研究所講演会

地域研究所が地域に果たす役割
～過去・現在・未来～

島根大学法文学部・田中則雄教授

開発研究所は3月24日、教育会館AV4教室で、島根大学法文学部・田中則雄教授を講師に招き講演会を開催した。

田中教授は島根大学法文学部山陰研究センターの前センター長でもある。同センターは、山陰地方の特性を踏まえた人文社会科学分野の研究を推進し、地域の経済、社会および文化の発展に寄与することを目的としている。日本近世文学が専門の田中教授は、地元に残る江戸時代の資料調査研究も行っており、その活動を紹介。矢田貝塚（島根県伯耆町）の住民参加型の調査では「地域住民と文書を読むことでリアリティをもって解読できた」とし、「人文社会科学の大きな役割は過去から現在に至る人間の営みの跡を掘り起こし、それを記録し、意味づけること。地域はその生データが豊富に存在するフィールドで、研究者は積極的にここに踏み込むべき」と指摘した。

さらに、「市民と研究者が同じ場に集い議論し、人文社会科学は人間が生きるために必要であるという認識の共有が必要だ」と述べた。

研究室の窓

経済学部講師　藤田（ふじた） 知也（ともや）

観光列車が沿線地域と鉄道事業者にもたらす効果

私の研究対象は「観光列車」です。北海道でいえば「ノロッコ号」や「SL冬の湿原号」等が挙げられます。「観光列車が研究対象になるの？」とお思いになるかもしれませんが、観光列車による沿線地域の活性化や鉄道事業者にもたらされる効果について研究しています。元々鉄道事業者に勤務していましたが、そうした研究をしたいと思っていたこともあり、会社を辞めて大学院に進学し、今に至ります。そういえば、大学院時代からお世話になっているある先生から、院生になりたての頃、「君には王道の交通経済学者になってほしいなぁ」と言われたことがありました。当時（といっても6年前）は観光列車を対象にした研究は殆ど無く、「先行研究のない観光列車より、王道のテーマで研究を積み重ねた方が研究者として職を得るにはいいんじゃない？」という極めて現実的なアドバイスだったと理解しています。実際、1本目の査読論文は交通経済学の王道でしたが、その後は観光列車研究をつき進めたわけです。アドバイスを半分無視してしまいましたが、その結果、今があるとも言えます。

少し話がそれましたが、鉄道事業者で導入されている観光列車の多くは旧型車両を改造しているということもあり、いわば「寿命」を迎えた観光列車が最近は散見されつつあります。そのまま引退したものあれば、新しい車両にリニューアルするものもあり（といってもこれも旧型車両の改造だったりすることもありますが）、2010年代から全国的に広がった動きも新たなフェーズに差し掛かっています。そして昨今のコロナ禍により、鉄道事業者が大打撃を受けたことを踏まえると、従来の観光列車戦略からの転換が見られるかもしれません。観光列車の運行に関わる全ての業務を鉄道事業者が担うのか、観光列車のキーポイントである「おもてなし」に関わる業務だけ他の組織（外注？　ボランティア？）が担うのか。今後も観光列車の動きから目が離せません！

未来展望

経済学部教授　浅妻（あさづま） 裕（ゆたか）

エネルギーシフトの世界的動向と日本の課題

2021年秋、COP26（国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議）が開催され、グラスゴー気候合意が採択された。合意には、2015年の「パリ協定」で採択された1・5℃目標をさらに厳しく追求することが盛り込まれ、今世紀半ばには温室効果ガス（GHG）排出量の実質ゼロを目指すことも明記された。さらに、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、2021年から22年にかけて発行された報告書で、「人間の活動が地球温暖化を引き起こしているのは疑いの余地がない」と断定した。そのうえで、ライフスタイル（需要側面）を含む社会の変革や途上国支援を含む脱炭素への投資拡大などにより、GHG排出量を「2025年」までに減少に転じさせることが必要としている。このように、世界的に、エネルギー転換と省エネによる「エネルギーシフト」は待ったなしの状況である。

地球温暖化が世界的課題となり、30年以上が経過しており、すでにGHG排出量の大幅削減に成功している国もある。例えば、1990年～2018年の間に、経済成長率が日本よりも高い英国やデンマーク、ドイツでは30％前後の削減を実現した。一方で、日本は同じ期間で2％減にとどまっている。天然ガスなどに比べても効率の悪い石炭火力発電に伴うCO_2排出量が、発電に伴う排出量全体の約半分を占めていることも大きな要因である。

上記のCOP26では、石炭火力発電の段階的な削減を目指すことが確認されている。世界の金融界では、石炭をはじめ、化石燃料を用いるビジネスへの投資撤退の動き（ダイベストメント）が加速化し、石炭火力発電からの具体的な撤退期限を設ける国も目立ってきた。日本では、関西電力などが秋田市で計画していた石炭火力発電所の計画が中止されるなどの動きがあるものの、未だ建設中・計画中の発電所が多く残る。

現在、ウクライナ危機に伴って、化石燃料価格が高騰し、それらを輸入に依存する日本も大きな影響を受けている。近視眼的な価格抑制も行われているが、中期的には、逆に二酸化炭素排出に価格付けを行う「カーボンプライシング」などを行って、石炭火力からの早期撤退や再生可能エネルギー普及の加速など、エネルギー安全保障の面からも大胆なエネルギーシフトを目指していく必要がある。

研究室を訪ねて Vol.07

人文学部日本文化学科
関本 真乃（せきもと まさの） 准教授
【国文学】

京都大学大学院文学研究科博士後期課程文献文化学専攻修了。博士（文学）（京都大学）。研究テーマは、日本中古中世の文学、特に中世王朝物語。

本学で活躍する専任教員の研究を、その人となりとともに紹介する「研究室を訪ねて」。第七回は、日本文学史などの講義を担当する人文学部の関本真乃准教授の登場です。

なぜ現代に古典を学ぶのか？ 源氏物語が描く「人間の本質」

―ご出身は大阪なんですね。

関本　そうです。大阪の南にある貝塚市というところで、岸和田と同じく、「だんじり祭り」で盛り上がる街で育ちました。

―研究者を志された「きっかけ」は何だったんですか。

関本　小さい頃から本を読むのが好きで、国内外問わず色んな物語を読んでいたんですが、小学生の頃に日本の古典文学を子供向けにアレンジしたシリーズに出会ったんです。その中で『竹取物語』とか『落窪物語』は子どもながらに面白かったんですが、『源氏物語』だけはよくわからなかった。でも千年以上読み継がれている物語なんだから、きっと「何か」あるはずだ、と。現代語に直したものではなくて、原文で読んだら、その面白さがわかるんじゃないか、と思ったんですね。

それで高校生になって古文の授業で『源氏物語』の若菜の巻を読んだとき、ようやくその面白さを実感できました。それまで自分が読んだ文学作品の中で一番面白かったんです。

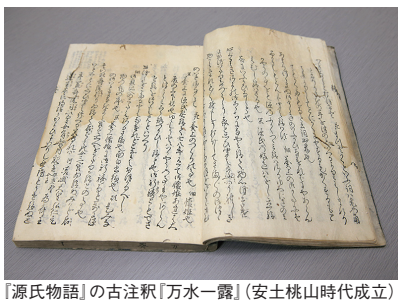
―そのまま京都大学の大学院まで「国文学一筋」ですね。

関本　見かけはそうなんですが、実は博士課程に上がるときに研究者としてやっていけるか不安で、就活もしたんです。けれどいざ内々定をいただく段になって、その仕事をずっとやっていけると自信を持って言えない自分に気づいてしまい……私、すごい〝飽き性〟なんですよ（苦笑）。それで自分が一生没頭できることは何かと考えたら、やっぱり古典文学の研究だな、と気づいたんです。その後、紆余曲折あって今に至る、という感じです。

―現在はどのような研究をされているのでしょうか。

関本　『源氏物語』を読んだ後世の人々が、どのような影響を受けたかについて研究しています。例えば『源氏物語』を読んだ鎌倉時代・南北朝時代の人々は、その影響下で、新たな物語を創作しました。これらの物語は『源氏物語』の模倣が多く、オリジナリティに欠けると思われがちです。でも当時の貴族はみんな『源氏物語』を読んでいますから、模倣した場面は「あぁ、『源氏物語』のあそこだな」とネタ元が分かる。いわば貴族の〝内輪受け〟なんです。現代の目から見ると文学的価値はもちろんですが、私は彼女ほど「人間とは何か」を鋭く観察した人はなかなかいないと思います。主人公である光源氏が上り詰めるところで終わらず、その弱さや老いも客観的に描きます。その類まれな人間観察力が登場人物たちにリアリティを与え、千年読み継がれる物語を動かす原動力となっていると思います。

京都大学卒業式にて（右が関本准教授）



『源氏物語』の古注釈『万水一露』（安土桃山時代成立）

―その『源氏物語』の舞台である京都から北海道に来られて、最初は戸惑いもあったのでは？

関本　もともと北海道は好きでしたし、そこは住めば都ですね。面白かったのは、『源氏物語』に「春と秋ではどちらがいい季節か」を議論する場面があるのですが、そこを授業でやったとき、ある学生に「どうして春と秋なんですか？」と聞かれたんです。言われてみれば、北海道の春はともかく、秋はどんどん陽が短くなって、冬へと向かっていくちょっと寂しい季節なんですよね。つまり、「一番、いい季節は夏じゃないんですか？」と（笑）。そういう本州との感覚の違いは新鮮でしたね。

―なるほど（笑）。最後に、学生の皆さんへメッセージをお願い致します。

関本　まずは「食わず嫌い」にならずに、古典文学を読んでみてほしいですね。よく「古文を勉強して現代社会で何の役に立つの？」とも言われますが、私たちとは違う時代に生きた人たちの価値観を知ることで、自身の価値観を相対化することができます。例えば「●●はこうあるべき」と考えていたことが、時代が違えば必ずしもそうではない、と知ることも相対化です。

自身の価値観を相対化することは、現実社会で生きていくためには、とても大事なスキルです。社会というのは、異なる価値観がせめぎあい、お互いに認め合いながら共存している場所ともいえるからです。

千年前に生きた人たちの物語に、現代に生きる私たちが「そうだよなぁ」と共感できるというのは、そこに時代が違っても変わらない「人間の本質」があるということ。そこから生きるヒントをも拾えるので、学生の皆さんには古典文学という醍醐味を気軽に愉しんでほしいですね。

関本先生のプチ解説　紫式部の人間観察力

『源氏物語』には、その内面を多少なりとも描かれる人物が100人以上登場します。優しい人、感情豊かな人、情が深いけれどプライドの高い人、…誰かには感情移入できるはず、といえるほど、あらゆる人々が複雑な厚みを持って描かれています。そして相互理解の困難さや、ちょっとした行き違いや誤解から溝が生まれ、気づいたときには修復不可能になる関係性や、1人の人間との出会いが人生を左右する様子など、およそ人間関係の諸相についても網羅しているようです。たとえば桐壺更衣を亡くした桐壺帝について『源氏物語』は、禁じられていたからこそ愛情が深くなっていたと指摘し、自然と藤壺女御に気持ちが移ってその心が慰むことを描き、それが人の性なのだ、と言います。その筆致はともすれば冷徹なまでにフラットです。紫式部は、自身が出会ってきた人々の背景や、その人の生きた顛末までつぶさに観察し、分析してきたのでしょう。

第27回人文学の挑戦

短歌と三浦綾子の魅力を語る

人文学部イベント「人文学の挑戦」が4月10日、紀伊國屋書店札幌本店で、約2年半ぶりに対面で開催された。

今回は北海学園大学出版会から昨年11月に刊行された『書棚から歌を 二〇一五―二〇二〇』を記念して、著者の田中綾教授が話し手、聞き手として田中教授が館長を務める三浦綾子記念文学館の学芸員・長友あゆみ氏が登壇した。

本書は、短歌が引用された本を見開き2ページで1冊紹介するブックガイドとなっている。田中教授は「短歌は『万葉集』の頃から生き延びているもの。和歌や短歌を学ぶことで日本の歴史を語ることができる。短歌に季語は必要なく、日本語使用者であれば国籍も年齢も関係なく作ることができ、底辺に置かれている人や悩み多い人などを掬ってくれる」と解説。後半は長友学芸員が、今年生誕一〇〇年を迎える作家三浦綾子の、夫・光世と二人三脚で取り組んできた創作秘話等を披露した。

田中綾人文学部教授（右）と三浦綾子記念文学館・長友あゆみ学芸員

2021年

学園オリジナルワイン完成

工学部生命工学科は八剣山ワイナリー（札幌市南区）と連携しワインプロジェクトを進めてきた。2021年秋に醸造を開始した赤・白・スパークリングロゼの3種のワインが今春完成し、4月28日に学内予約受け渡しを行った。また、ウクライナ人道支援寄付金付きスパークリングロゼを学内限定リリース。寄付金100円を上乗せした価格になっており、これに八剣山ワイナリーが400円を拠出、1本あたり計500円を寄付できる取り組み。集まった寄付金は「北海学園大学ウクライナ人道危機救援金」を通じ日本赤十字社に寄付した。学園オリジナルワインは八剣山ワイナリー他札幌市内の一般店舗で購入可能。

完成した2021学園オリジナルワイン。左から赤、白、スパークリングロゼ、ウクライナ人道支援寄付金付きスパークリングロゼ

寄付金付きスパークリングロゼ 学内限定リリース

ウクライナ人道支援寄付金付きスパークリングロゼのリリースを通して集まった寄付金を元木邦俊工学部長に手渡す生命工学科の学生たち

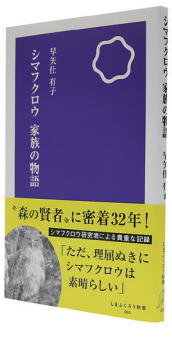
自著を語る 29

工学部教授
早矢仕 有子（はやし ゆうこ）

シマフクロウに魅せられ30余年

シマフクロウは、日本では北海道のみに生息する世界最大級のフクロウです。北海道には現在、170羽程度が道東を中心に暮らしています。野生個体を見かける機会は稀なので多くの方に馴染みの薄い存在でしょうが、数十年に及ぶ保護活動の甲斐あって、少しずつ個体数を増やし、分布域も徐々に復活しつつあります。本書は、私が学生時代から生態研究に取り組んできたシマフクロウのファミリーヒストリーであると同時に、絶滅の危機から回復させようと保護に傾注した人たちの歴史でもあります。

天寿を全うすれば30才を軽く超える寿命を持ち、複雑で長い夫婦・親子関係を持つシマフクロウは、気長に付き合えばとても魅力的な生き物です。両目が顔の前面に並び耳に似た羽毛も目立つために、1羽1羽の顔がヒトの顔のように個性的に見えることも感情移入を促し、客観的研究対象として接するのがとても難しい相手でもあります。しかも、国が保護している絶滅危惧種ですから、何かと制約が多く研究対象としては不自由です。それでも、夜の森で繰り広げられる素晴らしい瞬間の積み重ねが、目撃者である私を捉えて離さず、気づけば30余年が過ぎてしまいました。たいした研究成果も挙げられずに歳月ばかりが経過していることは研究者として情けない限りなのですが、科学論文では表現できないシマフクロウの素晴らしさを何とか人に伝えたいとの思いから、恥ずかしいほど主観的で私的な「家族の物語」を書き連ねました。野生動物の生態研究や絶滅危惧種の保護に携わった経験の無い読者にも読みやすい物語にすることを目指しましたが、成功した自信はありません。それでも、シマフクロウに愛着や共感を抱く読者がひとりでも増えてくれれば最上の喜びですし、野生動物と人の距離が危険なまでに近くなってしまった現在、絶滅危惧種との関わり方がどうあるべきか、考えるきっかけとなればさらに嬉しいです。



『シマフクロウ 家族の物語』
しまふくろう新書
2022年

新 学部長・研究科長・機関長に聞く！

今年度新しく就任した人文学部長・小松かおり教授、経済学研究科長・古林英一教授、教務センター長・鈴木美佐子教授に、今後の取り組みや抱負などを伺った。

人文学部長
小松（こまつ） かおり 教授

地頭を鍛える

―人文学部の特色は？

人間について、とことん突き詰めて考える学部です。人間について考える入り口はたくさんあります。そのために、本学部では、言語学、文学、歴史学、思想、環境といった授業を提供し、総合的に学べる環境を用意しています。

「ことば」は人文学の基礎ですが、使うためにことばを修得するだけでなく、そのことばを何のために使うのかを含めて考えます。そのうえで、何事においても、自分の頭で考え、調べ、意見をまとめ、他者と対話することができる「地頭」を鍛えます。その集大成が、4年生で全員が取り組む「卒業研究」です。ひとりひとりの学生の学びに伴走できる少人数教育も特徴です。

―新学部長としての抱負を。

人文学部のポテンシャルを最大限に引き出すことです。学生が少人数であることを生かして、ひとりひとりの学びに伴走する教育、それぞれの専門分野で活躍している教員の個性が生かせる教育、北海道に暮らすみなさんに開かれた学びの場の提供など、つないで活かすことを目指したいと思います。

―人文学部の最近の取り組みや、今後取り組んでいきたいことは？

これまで留学プログラムや国内の研修プログラムを充実させてきましたが、新型コロナで2年間中止を余儀なくされました。今年からこれらを復活させていきます。今年度から、カナダの協定校であるレスブリッジ大学とのダブルディグリー・プログラムも開始しました。長期留学で、両方の大学の学位の取得を目指すプログラムです。学部のモットーである「世界と繋がる」ため、より多くの学びの場を提供したいと考えています。学外に向けては、教員の研究を市民のみなさんに共有するための「人文学の挑戦」も再開しました。最近著書を発表した教員も多く、学部内の研究活動がとても充実しています。「高校ビブリオバトル北海道大会」の主催も予定しています。

―学生へのアドバイスを。

いろんなジャンルに挑戦して横に拡げていくもよし、好きなことを掘り下げて究めるもよし、自分の学びのスタイルを探してください。一人で悩んで行き詰まったときは、大学の教員や職員がサポートします。人の手を借りることを恐れないでください。

―休日の過ごし方や趣味は？

映画を見たり、本を読んだり、友だちと会ったり、自分を拡げる時間が楽しみです。

小松先生のおすすめの本

『謎の独立国家ソマリランド―そして海賊国家プントランドと戦国南部ソマリア』（集英社文庫）をはじめとする高野秀行さんの本

経済学研究科長
古林（ふるばやし） 英一（えいいち） 教授

経済理論・政策に普遍の真理はない

―経済学研究科の特色は？

狭義の経済学の研究者以外の多様な人材を多く擁している点が本学の経済学研究科の特色だと思います。そのことで視野を広げることが可能な研究科だと思います。

―新研究科長としての抱負を。

気分良く研究に取り組める環境をつくりたいと思っています。

―経済学研究科で特に力を入れている点やこれまで果たしてきた役割と成果についてお聞かせください。

各種政策論に関する特殊講義を中心に、理論・思想・歴史および地域・国際関連の特殊講義を設け、経済に関する専門的知識のみならず、人間と社会に関する幅広い見識を涵養することに力を入れてきました。社会人の大学院生が多く、高度な生涯教育的役割も果たしてきたと自負しています。

―学生へのアドバイスを。

何ら疑いも感じずに受け入れてきたことを、改めて「なんで?」と問い直してみることが学問の第一歩だろうと思います。私自身がそこそこ長く生きてきたことで、自信を持って言えるのは、経済理論や経済政策の多くに普遍の真理はないということです。もちろん、これまで幾多の知の巨人たちが積み重ねてきた知的営為の蓄積の多くは学ぶべきですが、それは彼ら彼女らが導き出した結論を知ることではなく、彼ら彼女らが結論を導きだすに至った思考プロセスを知ることだろうと思います。

―休日の過ごし方や趣味は？

休日はゴロゴロしながら、競馬・競輪・オートレース・ボートレースのいずれか、もしくはそのいくつか、日によってはそのすべてにいそしんでおります。

もっとも、近年ではこれら公営競技が研究対象になっているだけでなく、競輪や競馬についてのエッセイを書いたり、関係者との会議や会合もしばしばあり、趣味というより楽しい仕事になっています。よく趣味と実益を兼ねることができていいですねと言われますが、選手や騎手・調教師、さらには業界関係者と交流がいくら深まっても馬券や車券などの的中率は上がりませんので、そういう意味ではさしたる実益はありません。

古林先生のおすすめの本

自分がちゃんと読んだのかと問われると内心忸怩たるところではありますが、分野を問わず「古典」とされている書物は読んでおいて損はありません。

最近の本のなかでは、トマ・ポルシェ『経済学にだまされるな 人間らしい暮らしを取り戻す10の原則』をあげます。現代経済学に対する痛烈な批判の書です。「経済」という言葉は経国済民に由来しますが、とかく「経国」が声高に言われるなか、「済民」あっての「経国」だろうと思います。こういう視点もあるのだということを、経済学を学ぶ人には知っておいてほしいものです。

教務センター長
鈴木（すずき） 美佐子（みさこ） 副学長

コロナ禍もコロナ後も 学生のための学修環境を整備

―教務センターの役割を教えてください。

学生のみなさんの学修や履修、成績などの教務事項や各種届け出はすべて所属学部が担当しています。たとえば「オンライン授業リスト」は学部から配信されたと思いますし、「自宅待機証明書」の発行も学部事務室に依頼することになっています。

それに対して、教務センターは、全学部に共通して開講される「一般教育科目」や「課程科目（教職・図書館学・社会教育主事・学芸員）」を取り扱い、教室や体育館などの管理も行っています。

また、教務センター長が議長となる教務委員会は、教務日程や全学に関わる教務事項について検討・提案し、実施していく組織です。

―新教務センター長としての抱負を。

私は、コロナ・パンデミックとなった2020年度から対策本部副本部長として、学生のみなさんへ「授業に関する留意点」や「来学上の注意」などを配信し、いろいろなお願いをしてきました。2020年度は入学式も開催されず、多くの授業がオンラインで始まりましたが、その時期から教職員は、みなさんが授業を受け学修するために何が必要なのか、何に困っているのか、何をすればサポートになるのかを懸命に考えてきました。

今年度もまだまだ制限の多い中で授業が行われていますが、全学の教務事項検討が仕事である教務センター長は、コロナ禍のときだけでなく終息後も同じ姿勢で、学生のみなさんの学修がうまくいくように、情報環境をはじめとした教育環境を整備し、教職員はもとより、「HGU SOS」のように学生同士がサポートしあえる体制構築に努めることが責務だと考えています。

―教務センターや教務委員会が取り組もうとしていることをお聞かせください。

シラバスや遠隔授業に関係する事項の整備、情報リテラシー科目の充実などたくさんありますが、新たに力を入れるものとしてコンプライアンス教育があります。この4月に「研究倫理ガイド」がみなさんのところに配信されたと思いますが、大学生は研究者の一員であり、守らなければならない規範（たとえばコピペなど盗用はしてはならない）があることを知ってもらうためのものです。倫理観をもちながら自由に柔軟に学修を進めていっていただきたいと思っています。

鈴木先生のおすすめの本

野矢茂樹『はじめて考えるときのように』と、武田百合子『犬が星見た』をお薦めします。いずれも慣れてしまわないこと、誰かのことばで語らないこと、思考停止しないことが大切だと気づかせてくれます。

本学と沼田町との包括連携協定

石狩沼田駅リノベーション・プロジェクト

地域まちづくりや建築を実体験

本学は沼田町との包括連携協定を土台として空き家をリノベーションする活動を行っている。2021年度は、JR北海道の理解と協力を得て、現役活躍中の石狩沼田駅でリノベーションを実践した。

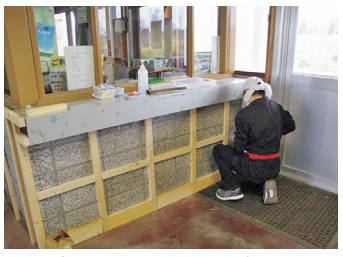
作業は沼田町内に泊まり込みで行われた。1巡目は6月24日～27日の4日間、空間デザイン実現に向け入念に準備。2巡目は8月4日～7日の4日間、本格的な改修作業が始まった。地元の建設業者に指導を受けながら、屋外で足場の組み立て、鉄骨の錆落とし、拭き取り・清掃、下地剤の塗布を行い、屋内では壁面を新しい壁に仕立てるための作業に取りかかった。デザイン提案に留まらず施工も学生が行う活動は全国的にも数少ない。

当初予定していた3巡目4巡目は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言で中止となったが、学生たちの「責任を持って完成させたい」という意向を受けて再調整し、10月19日～24日、6日間の日程で3巡目が実現。作業を続行し、外部壁の塗装、内部壁面の更新を完成させた。

学生たちは、地域まちづくりへの貢献と、実体験を通じて建築や地域と向きあう貴重な経験をした。

参加した学生たち

外部鉄骨に下地を塗装



窓口カウンターの腰壁下地組み

第25回 ぐっとずっと。エネルギア住宅作品コンテスト

米田研究室３人の共同作品 優秀賞受賞

中国電力株式会社主催、第25回2021年「ぐっとずっと。エネルギア住宅作品コンテスト」において、大学院工学研究科2年・三浦光雅さんと同大学院2年・渡邉憲成さん、工学部建築学科4年・高﨑菜々美さんの共同作品が学生部門において「優秀賞」を受賞した。3人は米田浩志研究室所属で、作品名は「野菜を育て、暮らしを育む」。同部門には全国から66点の応募があり、その中から選ばれた。

優秀賞受賞作品（共同作品）「野菜を育て、暮らしを育む」

建築学科 米田研究室

卒業設計作品展

工学部建築学科・米田浩志研究室の第12回卒業設計学外展が3月9日～11日の3日間、札幌市内のGALLERY創で開催された。

毎年恒例となっているこの作品展は4年間の集大成として取り組んだ作品を展示し、学生生活を締めくくるイベントでもある。今年のテーマは「七色」。来場した保護者やOB、一般の方々は、学生たちの情熱溢れる作品に見入っていた。

学園人脈記 第19回

道興建設株式会社 代表取締役会長
佐藤 寿一（さとう じゅいち）氏
経済学部経済学科 昭和48年卒・20期生
同窓会札幌東区支部長

感謝を忘れず、つねに前へ

多種多様な業界で活躍する同窓生をリレー形式で連載している「人脈記」。前回登場の五味川博都志さんが、道興建設株式会社代表取締役会長で本学同窓会札幌東区支部長の佐藤寿一さんを紹介してくれた。

◆◆◆

「グループ会社の後ろ盾と、社員が一生懸命頑張ってくれたから今日がある。感謝感謝です」と、昨年までの15年間、代表取締役社長を務めた佐藤さんが今の心境を話す。

佐藤さんは昭和48年に経済学部を卒業後、札幌の道路工業株式会社に入社した。36歳の時にグループ会社である現在の会社、道興建設に出向。平成18年、55歳で社長に就任し、昨年、会長となった。

道興建設は道路工業の土木部門を独立させた会社で、北海道を拠点に、道路や橋など都市基盤の整備や、河川、上下水道工事、下水道管渠等の調査・清掃業務・補修工事等を行っている。受注先は主に開発局と北海道と札幌市。独立して間もない会社の年商を毎年着実に伸ばし、札幌市の格付けはBからA2、さらにA1へ。開発局から局長賞を5回、部長表彰を7回受けるなど会社を大きく成長させた。

◆◆◆

十勝の本別町出身の佐藤さんは、大学進学を機に札幌に出てきた。

「学生時代は苦学生でアルバイトばかりやってましたね。いろんな人と知り合えたし社会勉強にもなった。忙しくてお金もなかったけど、楽しかったね」

そして建設会社への就職。経済学部卒の佐藤さんは「事務系で入って、最初は現場事務です。入社1年目は、何を言われているかさっぱりわからない、どれから手をつけていいのかわからない状態でしたね。深夜まで仕事をして、翌朝早くから事務所の掃除。仕事は厳しくて大変だったけれども、来年こそはと希望を持って働いていましたね」と振り返る。

2018年、同窓会札幌東区支部の総会・懇親会にて

その後は経理部等を経験し、道興建設では営業、そして常務、専務、社長へと上りつめる。建設会社でも会社が大きくなるとマネジメントが主体となるため、事務系出身の社長は珍しくない。

「同窓会でも、事務系、技術系の社長はたくさんおられます。ありがたいことに、先輩たちにはずいぶん人脈を広げてもらいました。自分一人の力ではない。そういう立場を与えてもらって、仕事をやらせてもらっていた。感謝の気持ちしかないですね」

近年、土木業界は人手不足が大きな課題の一つだ。

「まず、少子化で（工学系の）新卒者の数と業界が必要とする人数のギャップが大きい。新卒者獲得のためにも、業界のイメージ転換を図らなければなりません。国と建設業界がタイアップして賃金を上げたり、週休2日制にしたりして、昔から持たれている3K（危険、汚い、きつい）のイメージをはやく払拭しようと努力しています。しかし、入社しても辞めていく人が多い。社員にいかにやりがいのある仕事をやってもらうか。ここにきて良かったと思ってもらえるような働きやすい会社をつくることが社長の仕事です」

◆◆◆

「目標を持て。そして絶対に諦めないこと」。佐藤さんから在学生へのメッセージだ。これは佐藤さん自身、オーナーからずっと指導されてきたことでもある。そしてもう一つ、会社も家庭も、結局のところは「人」だと強調する。

「お金がたくさんあっても、それを釣り上げる釣り針がなければダメ。その釣り針も自分でつくるような気構えがほしい。つねに前向きに考えてほしいですね」。

◆◆◆

いつも新しいことにチャレンジしてきた姿勢は、趣味でも変わらない。

「運動系だとゴルフ、登山、ウオーキング、マラソン。文化系の趣味は音楽を聴くこと。昔からジャズが好きでね。趣味を通して知り合いが増え、会社とは別の横のつながりができるんです」

今年72歳。まだまだ多忙な日々が続きそうだ。

［プロフィール］1973年北海学園大学経済学部卒業。同年道路工業株式会社入社。1986年グループ会社である道興建設株式会社に出向。2006年同社代表取締役社長就任。2021年代表取締役会長就任。

ラッピングバス運行開始
青を基調とした新デザイン

山鼻・豊平キャンパス間で運行するシャトルバス

2020年度から運行している、山鼻・豊平キャンパス間での移動の利便性向上のため導入されたシャトルバスも今年で3年目を迎えます。4月11日からは、青を基調としたラッピングが施されたシャトルバスの運行が開始されました。

このラッピングバスは、夏休みや春休みなどの期間も路線バスとして運行する予定となっており、北海学園大学の広報の一端を担います。

吹奏楽団　全日本アンサンブルコンテスト 銅賞受賞

第45回全日本アンサンブルコンテスト大学の部で銅賞を受賞

去る3月19日（土）、吹奏楽団のユーフォ・チューバカルテットのグループが、山形県「やまぎん県民ホール」で行われた第45回全日本アンサンブルコンテスト大学の部に出場し、銅賞を受賞しました。北海学園大学吹奏楽団としては、6年ぶり3度目の全日本大会となりました。「やまぎん県民ホール」は、新しくてとても素敵な響きのするホールでした。この大会は高校の部22団体、大学の部11団体、中学校の部22団体、職場・一般の部22団体が地区大会、支部大会を勝ち抜いて出場しております。

吹奏楽団のこれからの活動ですが、5月中旬にさっぽろライラックまつり出演、8月の吹奏楽コンクール出場、12月11日（日）には、札幌市教育文化会館にて第31回定期演奏会を開催いたします。

学長室訪問

▽3月9日 一般社団法人新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会理事長 松井博和氏、同幹事 出村克彦氏、運営委員・本学同窓会幹事 村口康博氏

▽3月24日 島根大学法文学部教授 田中則雄氏

▽4月18日 北海道総合政策部国際局長 酒井隆氏、同課長 早川由世氏、同係長 池田綾乃氏

▽5月18日 日本経済新聞社札幌支社長 中川竜氏

基礎スキー部 神谷（かみや） 菜々（なな）
第49回全国学生岩岳スキー大会 基礎スキーの部 優勝

第49回全国学生岩岳スキー大会
基礎スキーの部で優勝した神谷菜々さん

2月23日～28日、長野県の白馬岩岳スノーフィールドで開催された第49回全国学生岩岳スキー大会 基礎スキーの部において、基礎スキー部の神谷菜々さん（法学部・令和3年度卒）が女子個人演技で優勝した。

神谷さんは第46回大会でも優勝しており、今回は2度目。4年間の集大成として素晴らしい成績をおさめた。

同窓生の声

登山愛好家 / 日本語教師 / アーチスト
久末（ひさすえ） 眞紀子（まきこ）
人文学部英米文化学科
平成20年度卒・Ⅱ56期生

サハラ砂漠の星空を描いた作品「宙へ」を背景に

やりたいことをどう実現させるか
世界7大陸最高峰制覇後、タイで働き、今は絵画

46歳の時キリマンジャロ登頂に成功。以後10年間で世界7大陸の最高峰を制覇し、本学在学中に国内で3人目の女性セブンサミッターとなった。

「登山を始めたきっかけは職場の同僚に誘われたことです。初めて登った大雪山系の雄大な景観に魅了され、それを機に社会人山岳会に入りました」

1982年から北海道埋蔵文化財センターに臨時職員として勤務。オフの期間を利用し、40歳の頃からバックパッカーとして、サハラ砂漠や地中海、シルクロードなど世界中を旅してきた。登山もまた旅の延長だったと話す。

とはいえ、世界の名だたる山々を登頂することは、常に危険と隣り合わせ。エベレスト登頂では下山直後、8400m地点で酸素ボンベのバルブが開かないトラブルに見舞われ、シェルパのサポートで九死に一生を得たという。

▲▲▲

エベレスト登頂後、「山以外のこともしよう。仕事を続けながら学べる」と本学人文学部2部英米文化学科に入学。「世界を旅して物価の違いがよくわかりました。日本の三分の一くらいのコストで暮らせるアジア圏で働こうと、英米文化学科を専攻し、副専攻で日本語教師の資格を取得しました。新しい知識を得る喜びで毎日が新鮮でした。4年間では足りなかった」と大学生活を振り返る。

「英語の授業は苦戦しました。海外経験からリスニングはできるけど、読み書きができない。初めは三単現のSもわからなくて、同級生に高校時代の教科書を借りて勉強しました」

英米文化学科は男女共にファーストネームで呼び合うので、仲間意識が生まれ、互いに励まし合い、よく勉強したという。「刺激をもらいました。時々、私の家に集まって、ピザパーティをしていました。今も連絡を取り合っています」。60歳で卒業。

▲▲▲

卒業後はタイで、中高一貫校と大学で足掛け7年、日本語教師として働いた。

その後、絵を学ぶために帰国し、札幌大谷大学美術学科に入学。

「アラスカの友人がアートスクールに入学すると聞いて、心に響くものがありました。私が旅で訪れるのは遺跡や美術館であり、私も絵を描いてみようと思いました」

大学ではキャンバスの張り方から画材の特徴などを基礎から学び、70歳で卒業。そして、今年3月に初の個展「宙（そら）へ」を開催した。

「初めての海外一人旅、サハラ砂漠の星を絵に留めました。登山でも頂上アタックは夜中に出るので星の移動を仰ぎながら進みます。作品「Everest－風を纏う花嫁」は山の老舗、北12条の秀岳荘に掛けられました。絵にふさわしい場所に飾られ、喜びと共に励みにもなりました」

▲▲▲

原動力を尋ねると「やりたいことを避けて通れないんです。『でも』『だけど』の接続詞はやりたい壁を高くしていくだけ。どうしたら叶うかと、いつも前向き思考です」。学生たちには「海外に出て異文化に触れて欲しいですね。今の時代はインターネットで簡単に世界の映像が見られます。だけど、実際の空気感や匂いは、その土地に降り立たないとわかりません。自然や人々と触れ合い、五感で異文化を感じて欲しい。世界は広いです」とアドバイスを送った。

著書『世界のてっぺんに立った！』北海道新聞社

困ったときは、ひとりで悩まず
学生カウンセリング室へ!!

事前予約制です。予約メールでお願いします。

E-mail:hgukokoro@hgu.jp

※相談は通常、対面形式で行っていますが、新型コロナウイルス感染対策を踏まえ、希望者には電話対応等も行っています。

カウンセラー

田中（たなか） 勝則（まさのり）

渡邊（わたなべ） 良平（りょうへい）

小幡（おばた） 昌志（まさし）

初夏を迎え、街路樹の緑もますます青々としてきました。学生と保護者の皆様におかれましては、少しずつ新しい環境にも慣れ始めている頃とお察し致します。それと同時に困りごとも芽を出し始める頃でもありますので、「こころの相談」では日々たくさんのお悩みをお聞きしています。

この度は、こころの相談のコーナーにまで目を通して頂きありがとうございます。こころの相談を御存じない方もいらっしゃるかと思いますので、簡単な説明をこの場でさせて頂ければと思います。

こころの相談では複数のカウンセラーが学生の皆さんの修学や就労、対人関係、家族、性、特性のこと、自分自身のことなどのお悩みを聞いています。お気持ちや状況の整理だけではなく、具体的な問題解決や合理的配慮の為に学部や外部機関と協力することもあります。基本的には対面での面談となりますが体温測定を徹底しており、全室アクリル板を配置しております。1回の面談は1時間ほどの場合が多いですが、臨機応変に対応しております。防音に配慮されたお部屋も用意できます。

複数のカウンセラーが対応

面談の予約につきましては上記のメールアドレスにご希望のお日にちを送信して頂ければ、ご予約の手続きを致します。面談は基本的に平日は毎日行っておりますので、お気兼ねなくご連絡下さい。なかなか最初の一歩は大変かも知れませんが、お困りの際はまずはメールだけでもお待ちしております。

※6月1日より女性のカウンセラーも対応予定です。

キャリア支援センター INFORMATION

2022年就職状況

2022年3月卒業生の就職状況がまとまりました。就職率は表1のとおりで、例年を下回る結果となりました。2020年度から続くコロナ禍でも、企業や官公庁等の採用意欲は高いままを維持しており、一部の業界を除き求人数・採用人数に、コロナ禍は影響を与えていません。何が本学の就職率に影響したかは今のところ不明ですが、キャリア支援センターでは、この結果を受け、卒業生や在学生に対する就職支援について一層強化していきたいと考えております。当然ながら、当人の意思を尊重し支援していくことになりますので、本人が進路を決定させるという意識を持つことが最も大切になります。

ここからは、コロナ禍でも納得感のある進路決定するために、特に注意してほしいことを挙げたいと思います。それは情報の質と量です。なぜかというと、コロナ禍では在宅時間が長くなりますので、必然的にインターネットが主な情報源となってしまいます。そこでインターネットを含む情報を有効活用するために、次の点を確認すると良いかと思います。

①「いつ」「誰が」発信したかをまず確認

情報は鮮度が重要です。新しいかどうか、また誰が発信したかも確認しましょう。

②得た情報をしっかり整理する

オンラインでの就職活動がスタンダードとなり、得られる情報量が増えましたが、反面、情報の整理ができないこともありますので、情報を整理する時間を設けましょう。

③「知らない」企業を見つける

「密」にならないよう行動制限があるため、必然的にたくさんの企業との接点が減り、その結果、「知っている」企業のみの受験となってしまうことが多くなってしまいます。

選択肢を広げるためにも、自身が認知していない企業を知るという活動がとても大切になってきます。web開催の合同説明会も増えています。自身が「知らない」企業を「知る」機会を増やしましょう。

企業の採用意欲はまだまだ衰えておらず、大学には日々、求人票が届いています。併せて、学内で単独説明会や合同企業説明会などのイベントも実施しております。そのほか、キャリア支援センターでは個別の進路相談も随時受付していますので、積極的にご利用いただければと思います。

4年生向け 学内合同企業説明会【対面式】開催決定

日時／6月12日（日）9時30分～16時45分

場所／豊平校舎8号館

出展企業は6月2、3日開催の「就職ガイダンス」で配布する資料をご確認ください。

※新型コロナの感染状況により、開催方法が変更になる場合があります。

表1　2022年3月卒業生就職状況

	学科	内定率(%) 男	女	計
1部	経済	90.07	97.06	91.43
	地域経済	94.38	91.67	93.60
	経営	93.14	95.77	94.22
	経営情報	85.07	97.30	91.49
	法律	85.71	88.64	86.67
	政治	94.20	84.85	91.18
1部	日本文化	83.72	78.72	81.11
	英米文化	90.00	96.67	94.44
	社会環境工	97.22	100.0	97.30
	建築	95.83	94.44	95.45
	電子情報工	76.47	100.0	77.36
	生命工	87.80	100.0	90.20
1部合計	男/89.73、女/92.56、計/90.71			
2部	経済	86.21	87.50	86.36
	地域経済	81.48	60.00	78.13
	経営	85.71	88.00	86.42
	法律	81.97	86.67	82.89
	政治	86.05	90.00	86.79
	日本文化	59.09	90.00	68.75
	英米文化	92.86	100.0	95.83
2部合計		82.92	87.95	84.07
1部・2部合計	男/87.97、女/91.81、計/89.20			

表2　2022年3月卒業生 業種別就職先（抜粋）

公務員・国立大学法人	国家公務員一般職
	国税専門官
	労働基準監督官
	財務専門官
	皇宮護衛官
	裁判所職員一般職
	自衛隊幹部候補生
	自衛隊一般曹候補生
	北海道職員
	北海道警察
	札幌市役所（一般事務・他）
	札幌市消防
	道内市役所
	道内町村
	警視庁警察官
	千葉県警察
	東京消防庁
	東京都特別区
	国立大学法人等職員
	北海道内外教員
建設・住宅・不動産	岩田地崎建設
	伊藤組土建
	つうけん
	クワザワ工業
	北電興業
	砂子組
	田中組
	中山組
	北海道消防機材
	北土建設
	丸彦渡辺建設
	エムエムエスマンションマネージメントサービス
	豊栄建設
	内池建設
	岩倉建設
	大林組
	三建設備工業
	大成建設
	戸田建設
	ミサワホーム北海道
	北海道セキスイハイム
	ロゴスホーム
	一条工務店
	土屋ホーム
	大和ハウス工業
	スウェーデンハウス
	ドーコン
	構建設計事務所
	ルーラルエンジニア
	中央コンサルタンツ
	ＮＴＴファシリティーズ
	てしおがわ土地改良区
	桂和商事
	藤井ビル
建設・住宅・不動産	ビッグ
	常口アトム
	三井不動産リアルティ札幌
	明和地所
	イオンモール
	住友不動産販売
	東急リバブル
メーカー	北海道コカ・コーラボトリング
	ロッパパン
	六花亭製菓
	よつ葉乳業
	伊藤園
	リンナイ
	ＮＩＣＨＩＪＯ
	アイリスオーヤマ
	総合商研
	アイワード
	凸版印刷
	昭和木材
エネルギー	北海道ガス
	北海道エア・ウォーター
	旭川ガス
金融	北海道銀行
	北洋銀行
	北海道信用保証協会
	北日本銀行
	北陸銀行
	ゆうちょ銀行
	空知信用金庫
	北央信用組合
	北海道労働金庫
	帯広信用金庫
	北見信用金庫
	網走信用金庫
	旭川信用金庫
	苫小牧信用金庫
	北海道信用金庫
リース	北海道リース
	中道リース
	カナモト
	大和リース
損害保険・生命保険	住友生命保険相互会社
	日本生命保険相互会社
	明治安田生命保険相互会社
	損害保険ジャパン日本興亜
	ソニー損害保険
	北海道漁業共済組合
証券	三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券
卸売	大丸
	ＰＡＬＴＡＣ
	曲〆高橋水産
	北一ミート
	サッポロウエシマコーヒー
	東日本フード
卸売	ＴＯＴＯ北海道販売
	渡辺パイプ
	北海道和光純薬
	モロオ
	スズケン
	石垣電材
	竹山
	ムトウ
	ホシザキ北海道
	ヤブシタ
	大塚商会
	リコージャパン
	扶桑電通
	トヨタ部品北海道共販
	日本キャタピラー
	北海道クボタ
	ヨコハマタイヤジャパン
	エネサンス北海道
	丹波屋
	北海道酒類販売
小売	生活協同組合コープさっぽろ
	セコマ
	イオン北海道
	ラルズ
	ファーストリテイリング
	ヤマダ電機
	ヨドバシカメラ
	柳月
	アイングループ
	サッポロドラッグストアー
	ツルハ
	ダイハツ北海道販売
	札幌トヨタ自動車
	札幌トヨペット
	トヨタカローラ札幌
	北海道日産自動車
	北海道ブブ
	ホンダカーズ札幌
	プリヂストンリテールジャパン
	ハミューレ
	ジョイフルエーケー
	ＤＣＭホーマック
	ドトールコーヒー
サービス	スターバックスコーヒージャパン
	野口観光
	学校法人吉田学園
	学校法人日本医療大学
	練成会グループ
	吉岡経営センター
	北海道鑑定
	帝国データバンク
	アクセンチュア
	クリーク・アンド・リバー社
	札消防災
サービス	オカモトグループ
	ＫＤＤＩエボルバ
	ＮＴＴ東日本グループ会社
	ＳＯＣ
	中央システム
	アドヴァンスト・ソフト・エンジニアリング
	ＨＩＳホールディングス
	ＳＣＳＫ北海道
	つうけんアドバンスシステムズ
	北央情報サービス
	アシスト北海道
	エスイーシー
	ＪＡ北海道情報センター
	パーソルプロセス＆テクノロジー
	ジャパンテクニカルソフトウェア
	ミクロスソフトウエア
	クレスコ
	エイチ・エル・シー
	フォレステック
	北洋システム開発
	ＮＴＴ東日本ー北海道
	ＫＤＤＩ
	ＮＴＴドコモ
情報処理・通信	北海道建設新聞社
	北海道新聞社
	北海道放送
	札幌映像プロダクション
	旭川ケーブルテレビ
	デイリー・インフォメーション北海道
広告	北日本広告社
	サイバーエージェント
	リクルート北海道じゃらん
	北海道アルバイト情報社
人材	エン・ジャパン
	マイナビ
	ジェイ・ブロード
運輸・倉庫	じょうてつ
	ネクスコ・エンジニアリング北海道
	北海道旅客鉄道
	北海道郵便逓送
	佐川急便
	フェデラルエクスプレスジャパン
	日本通運
	ヤマト運輸
	商船三井フェリー
	ＡＩＲＤＯ
団体	ホクレン農業協同組合連合会
	札幌市農業協同組合
	北海道漁業協同組合連合会
医療・福祉施設	医療法人溪仁会
	ＫＫＲ札幌医療センター斗南病院
	社会福祉法人ノテ福祉会
	さくらコミュニティサービス
	社会福祉法人札親会

※紙面の都合から主な就職先約216社を掲載しました。

2022年度 進学相談会

各会場とも入場無料、事前の申込みは不要です。

道内会場

開催月日	場所	会場名
6月14日(火)	釧路	釧路センチュリーキャッスルホテル
6月17日(金)	札幌	プレミアホテル-TSUBAKI-札幌
7月14日(木)	苫小牧	苫小牧市総合体育館
8月23日(火)	函館	ベルクラシック函館
8月24日(水)	旭川	道の駅あさひかわ
8月25日(木)	札幌	札幌パークホテル
9月13日(火)	北見	ホテルベルクラシック北見
9月14日(水)	旭川	旭川地場産業振興センター
9月14日(水)	札幌	ホテルエミシア札幌
10月 7日(金)	札幌	サッポロファクトリーホール
10月25日(火)	帯広	ホテル日航ノースランド帯広
10月31日(月)	苫小牧	グランドホテルニュー王子
11月 7日(月)	旭川	アートホテル旭川
11月 8日(火)	北見	ホテルベルクラシック北見
11月 8日(火)	紋別	紋別市スポーツセンター
11月 9日(水)	札幌	ホテルエミシア札幌
11月 9日(水)	網走	網走セントラルホテル
11月11日(金)	札幌	札幌パークホテル
11月16日(水)	函館	ベルクラシック函館
11月17日(木)	室蘭	蓬峰殿
11月25日(金)	釧路	釧路市観光国際交流センター
12月 8日(木)	札幌	ガトーキングダムサッポロ

※参加前に必ず最新情報を確認してください。

OPEN CAMPUS 2022

夏のオープンキャンパス

8/10(水) WEB　10:30～17:00【受付：7/19（火）10：00～】

8/11(木) 対面　経済10:00～、経営14:50～、法14:00～ 人文10:50～、工10:30～・14:45～【受付：7/19（火）10：00～8/1（月）】

秋のオープンキャンパス（10：00～、14：00～）

9/24(土) 工学部　10/22(土) 経営学部

10/1(土) 経済学部　10/29(土) 法学部

10/15(土) 人文学部　【受付：全日程9/1（木）10：00～】

2部オープンキャンパス

9/24(土) 14：00～（経済、経営、法、人文）【受付：9/1（木）10：00～】

【開催内容】大学説明会、入試制度説明会、学内ツアー、学部イベント、体験ツアー（工学部のみ）など
※webは別内容、2部も一部内容が異なります。

申込必須！本学公式LINEよりお申込みください。

イベント及びお申込みの詳細については本学HPをご確認ください。

※今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、イベント内容および開催日時が変更・中止となる場合があります。

2022年度 ミニオープンキャンパス

函館	7/23(土)	函館市民ホール
室蘭	7/24(日)	生涯学習センター きらん
北見	7/30(土)	北見芸術文化ホール
釧路	7/30(土)	釧路市生涯学習センター
旭川	7/31(日)	旭川北洋ビル
帯広	7/31(日)	とかちプラザ

全会場 11:00－17:00（11:30～、14:30～の2部制）

【開催内容】大学説明会、保護者向け説明会、入試制度説明会、個別相談会、学部教員によるオンライン相談、パネル展、資料配布コーナー

申込必須！本学公式LINEよりお申込みください。

イベント及びお申込みの詳細については本学HPをご確認ください。

2022年度 大学院進学説明会

経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・文学研究科

第1回 7/2(土) 13:00～14:30

第2回 12/3(土) 豊平キャンパス6号館3階

工学研究科

第1回 7/8(金) 14:30～15:30

第2回 12/9(金) 山鼻キャンパス2号館2階会議室

【開催内容】各研究科個別相談会、奨学金説明会・個別相談、施設見学、社会人特例・長期履修制度説明、就職情報の提供

2023年度 北海学園大学 編入学・転入学試験日程

一般編入学・転入学試験　推薦編入学試験

学部	学科	募集年次	試験	期	出願期間	試験日
経済学部	1部 経済学科・地域経済学科 2部 経済学科・地域経済学科	3年次	一般・推薦		2022年 10月4日(火)～10月14日(金)	11月5日(土)
経営学部	1部 経営学科・経営情報学科 2部 経営学科	3年次	一般・推薦	Ⅰ期	2022年 10月17日(月)～10月28日(金)	11月26日(土)
		3年次	一般	Ⅱ期	2023年 1月16日(月)～1月27日(金)	2月25日(土)
法学部	1部 法律学科・政治学科 2部 法律学科・政治学科	2年次	一般		2023年 1月10日(火)～1月17日(火)	2月17日(金)
		3年次	一般・推薦	Ⅰ期	2022年 9月15日(木)～9月22日(木)	10月15日(土)
		3年次	一般・推薦	Ⅱ期	2023年 1月10日(火)～1月17日(火)	2月17日(金)
人文学部	1部 日本文化学科・英米文化学科 2部 日本文化学科・英米文化学科	3年次	一般	Ⅰ期	2022年 9月30日(金)～10月7日(金)	10月29日(土)
				Ⅱ期	2023年 1月16日(月)～1月27日(金)	2月24日(金)
工学部	社会環境工学科（社会環境コース・環境情報コース） 建築学科 電子情報工学科 生命工学科	3年次	一般	Ⅰ期	2022年 6月7日(火)～6月11日(土)	7月2日(土)
				Ⅱ期	2023年 1月17日(火)～1月21日(土)	2月20日(月)

※建築学科は、Ⅰ期の募集を行いません。
※工学部Ⅱ期の募集人員に関しては、欠員に応じて変更する場合があるため、事前に工学部事務室「編入学・転入学係」までお問い合わせください（11月下旬予定）。

社会人特別編入学・転入学試験

学部	学科		出願期間	試験日
経済学部	1部 経済学科・地域経済学科 2部 経済学科・地域経済学科		2022年 10月22日(土)～11月4日(金)	11月27日(日)
経営学部	2部 経営学科	Ⅰ期	2022年 10月17日(月)～10月28日(金)	11月26日(土)
		Ⅱ期	2023年 1月16日(月)～1月27日(金)	2月25日(土)

2023年度 北海学園大学大学院 入試日程

課程	入試	研究科名	出願期間	試験日
修士	第Ⅰ期	経済学研究科	2022年 8月29日(月)～9月12日(月)	10月5日(水)
		経営学研究科		10月15日(土)
		法学研究科		10月5日(水)
		文学研究科		10月22日(土)
		工学研究科		10月18日(火)
	第Ⅱ期	経済学研究科	2023年 1月10日(火)～1月18日(水)	2月18日(土)
		経営学研究科		2月18日(土)
		法学研究科		2月18日(土)
		文学研究科		2月18日(土)
		工学研究科		2月14日(火)

課程	研究科名	出願期間	試験日
博士（後期）	経済学研究科	2023年 1月10日(火)～1月18日(水)	2月18日(土)
	経営学研究科		2月18日(土)
	法学研究科		2月18日(土)
	文学研究科		2月18日(土)
	工学研究科		2月14日(火)

※詳細は募集要項でご確認ください。URL https://www.hgu.jp/